

よっかいち かすみがうら  
**四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業**

**1. 事業の必要性及び概要**

令和3年度当初：7.8億円

近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

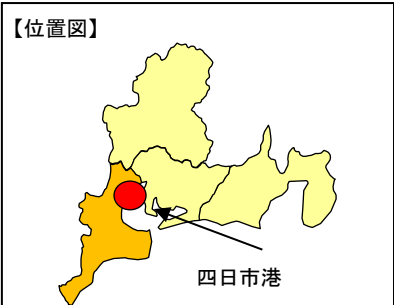
このため、霞ヶ浦地区において、国際物流ターミナルの整備を行います。

**2. 事業箇所**

三重県 よっかいち 四日市市

**3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況**

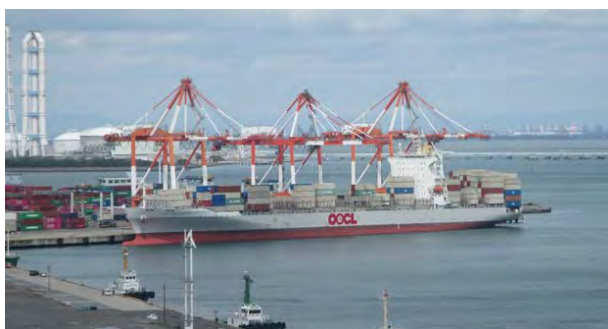
令和3年度より地盤改良等に着手します。



【現状】



【整備後】  
霞ヶ浦北ふ頭へ  
コンテナ機能の集約化



北ふ頭に係留するコンテナ船



南ふ頭に係留する自動車輸送船

#### 4. 整備効果

○重点：豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり

…地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

##### <コンテナ輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、大型化が進展しているコンテナ船の着岸が可能となり、航路便数の増加が見込まれます。これにより、四日市港におけるコンテナ貨物量の増加への対応が可能となるとともに、他港への陸上輸送が解消され、効率的な輸送体系が可能となります。



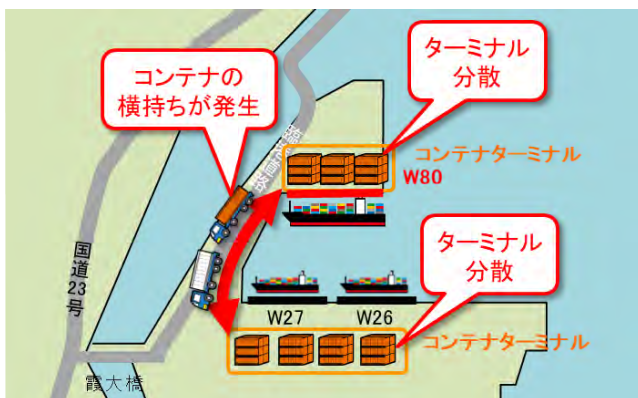
【現状】



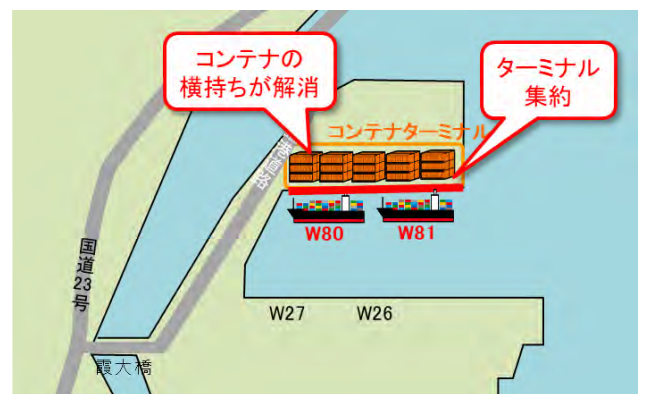
【整備後】

##### <ターミナルの効率化>

霞ヶ浦地区北ふ頭にコンテナ機能が集約化されることで、荷捌き地等の不足・分散による横持ちが解消され、効率的な荷役が可能となります。



【現状】



【整備後】

○重点：国民の安全・安心の確保

…大規模地震災害に対する港湾の防災・減災、国土強靱化の推進

##### <被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。